



中川 あゆこ 議員

高島市の観光産業と、おもてなし文化の醸成について

問 高島市の観光産業に

おいで、おもてなし文化を醸成するには



答 観光ビジョンを策定する中で市民の思いを伺い、観光振興への理解を深めていきたいと考えています

問 「おもてなし文化」を醸成していくための市民とのビジョンの共有、また、より良い観光についての意見交換会開催について。

答 商工観光部長

令和4年度と令和5年度の2か年をかけて、観光振興に関わる多様な主体が共有すべき総合的な指針として観光ビジョンの策定を進めています。観光ビジョンの策定にあたり、市民アンケート調査を行う中で、市民の観光に対する思いや意向についても伺いし、市民と行政が一体となった観光振興のための現状を把握するとともに、パブリックコメントの実施や必要であれば区長・自治会長会議や住民自治協議会などの機会を通してご意見を求めるなど、観光振興に向けた市民の理解を深めていきたいと考えています。

問 高島市の観光公害についての認識と対策は。

答 商工観光部長

白鬚神社の初日の出、春の海津大崎の桜、メタセコイア並木の紅葉シーズンなどで、違法駐車や交通渋滞などが発生し、近隣住民の方にはご迷惑をおかけしています。対応として地域や観光事業者、警察などの関係機関で受入対策会議を設置し渋滞対策などを検討し、市ホームページで注



意喚起、誘導看板、注意看板の設置、周辺交差点に警備員を配置するなどの対策を実施しており、今後も引き続き、関係機関と連携しながら必要な対策を講じていきます。

問 2024年春の北陸新幹線敦賀駅開業に向けた観光振興策は。

答 商工観光部長

敦賀市をはじめとする福井県嶺南地域と広域観光交流会議を設置し、広域パンフレットを作成するなど相互連携による観光振興に努めています。

す。今年度は新たな取り組みとして観光アプリを使った「びわ湖高島・若狭路スタンプラリーキャンペーン」を実施しており、今後も北陸新幹線の敦賀駅開業に向けて開催されるイベント等で観光PRを行うなど、引き続き連携をとって観光振興を図っていきます。

